

関係省庁による重要な標準関係施策への加速化支援に係る実施体制

参考資料 1

- 「統合イノベーション戦略推進会議」の枠組の下にある「標準活用推進タスクフォース」において、省庁横断的に戦略的な標準活用を推進すべき重点分野にワーキンググループ(WG)を設置。
→標準活用戦略を整備。
- 「総合科学技術・イノベーション会議」の枠組の下にある「ガバニングボード」(研究開発関連予算に係る実質的な最高意思決定機関)の監督下の「審査・評価委員会」に「標準活用加速化支援事業分科会」を設置。
→標準活用戦略等を踏まえ、同分科会で加速化支援すべき関係省庁の重要施策を審査し、予算追加配分の原案を策定。ガバニングボードで決定後、関係省庁に予算を移し替え。※

統合イノベーション戦略推進会議
(議長：官房長官)【閣僚級】

標準活用推進タスクフォース
(座長：総理補佐官)【局長級】

重点分野にWGを設置
(基本パッケージ)



標準活用戦略
の整備・推進

標準活用に知見ある
コンサルファーム等の活用

総合科学技術・イノベーション会議

ガバニングボード

(構成員：総合科学技術・イノベーション会議 有識者議員)

審査・評価委員会(有識者で構成)
標準活用加速化支援事業分科会

予算の追加配分に係る
・対象施策と配分額の原案策定
・対象施策の事後評価 等

関係省庁から標準活用戦略等を踏まえた
重要施策への予算の追加配分を要望

※内閣府科技部長の「官民研究開発投資拡大プログラム」(PRISM)の予算と運用スキームを活用